

吉田高校

地域とつながり、現場で福祉を学ぶ

生徒が主体的に科目を選んで学習する探究科。2年生で福祉科目を選択した生徒たちは、「生活支援技術等」の授業を通して、福祉の知識や技術を学んでいます。普段は教室での講義が中心ですが、2学期からは市内の福祉事業所で全3回の実習を実施。9月と12月には施設を訪れ、介護の現場を見学するほか、シーツ交換やおやつのお供、利用者の方との会話などを体験します。2月には社会福祉協議会と連携し、訪問介護の現場も訪れる予定。地域での実践を通して、福祉への理解を深めています。

子どもが好きなので、将来は保育士を目指しています。障害のある子など、一人一人に合った環境を見つけ、その子らしく成長できるよう力になりたいです。実習では、利用者に応じたケアの方法や、職員の方のコミュニケーションの取り方を学びたいです。



下土居 羽音さん(2年)

将来は看護師など、医療に関わる仕事に就きたいです。実習では、利用者の方への接し方はもちろん、職員の方が周囲にどう目を配り、どのように動いているのかも学びたいです。現場だからこそ分かることを、これからの学習や進路に生かしたいです。



黒瀬 大智さん(2年)



9月24日(木)には吉田町の百楽荘で実習を行いました。

広島県立吉田高等学校 吉田町吉田719-3 ☎42-0031



専門組織「tegós」と一緒に 鳥獣対策を

田畑を「餌場」にしないために

収穫後の田畑には、野生動物の餌になるものが意外に残っています。「ここに来れば食べ物がある」と覚えさせないことも、大切な鳥獣対策です。

稲刈り後は「秋起こし」を

稲刈り後の田んぼに残った落ちもみや、再び伸びてくる「二番穂」は、野生動物にとって格好の餌になります。秋起こしで土にすき込み、田んぼに食べ物を残さないようにしましょう。

野菜くずも、動物にはごちそう

収穫後に出た野菜くずを、畑の隅や周辺に放置していませんか？ 人にとってはごみでも、野生動物にとっては餌になります。畑に放置せず、生ごみとして処理しましょう。

収穫しない果実は残さない

収穫しなくなった柿や栗などの「放任果樹」も、野生動物を呼び寄せる原因になります。実は早めに収穫し、落ちた実も小まめに片付けましょう。今後利用しない果樹は、伐採することも対策の一つです。

〈秋起こし前〉



稲刈り後に伸びた二番穂などが、野生動物の餌になります。

〈秋起こし後〉



二番穂などを土にすき込み、餌がない状態にします。

「相談窓口」

(一社)広島県鳥獣対策等地域支援機構「tegós」
☎お太助フォン 47-4021 (地域営農課内)

鳥獣害対策中間支援組織「tegós」のフィールドアドバイザーが、正しい鳥獣対策を教えます！



tegósフィールドアドバイザー
安芸高田市担当 栗栖 伸明さん

今月の

市長コラム

げんき教室の詳細はこちら



介護予防から考える、まちの未来

こんにちは。市長の藤本悦志です。
『年齢を重ねても、自ら出掛け、人と会い、住み慣れた地域で自分らしく暮らし続ける』

これは誰もが願うことではないでしょうか。

そのために欠かせないのは、元気なうちから健康を守り、その状態をできるだけ長く保つこと。

市では、高齢者の皆さんの健康づくりや介護予防を支える取り組みの一つとして「げんき教室」を行っています。運動だけでなく、栄養やお口の健康、認知症予防、閉じこもり予防など、さまざまな面から健康づくりに取り組む教室です。2025年度には422人、延べ6,818人の皆さんにご参加いただきました。

まだ参加されたことがない方は、ぜひ一度参加してみてください。「体力に自信がない」「知らない人ばかりだと不安」と感じる方もいらっしゃるかもしれませんが、げんき教室は、それぞれの状態に合わせてながら健康づくりに取り組むことができます。

すでに参加されている皆さんからも、周りの方へ「一緒に行ってみん？」と声を掛けていただけたらと思います。

介護が必要になったときに、必要なサービスを受けられる環境を整えることはもちろん大切です。しかし、それと同じくらい大切なのは介護が必要になる前から体を動かし、人とつながり、外に出るきっかけを持ち続けることだと思っています。

未来への投資は、子どもや若い世代だけに向けたものではありません。

長い年月、地域を支えてこられた皆さんがこれからも健康で生き生きと暮らせる環境をつくることも、安芸高田市の未来を育てる大切な投資です。

元気な高齢者が増えることは、ご本人やご家族の安心だけでなく、地域の活力にもつながります。いくつになっても自分らしく、住み慣れた地域で元気に暮らし続けられる安芸高田市を目指し、これからも皆さんの健康づくりをしっかりと支えてまいります。

佐賀へ広がる ひろしま安芸高田神楽

今月の 神楽 NEWS

佐賀県内各地の伝承芸能が一堂に会する「佐賀県伝承芸能祭」。第1回から安芸高田市の神楽団が特別出演し、「ひろしま安芸高田神楽」の魅力を伝えてきました。9回目となる今回は、美土里町の天神神楽団が出演。「大江山」を披露し、2,000人を超える来場者を魅了しました。

佐賀県では、「ひろしま安芸高田神楽」を基に、若手劇団のメンバーを中心とした「佐賀神楽団」が2020年に結成されています。本市の神楽団員から指導を受けながら、舞や奏楽などの技術を磨き、現在では佐賀県立太良高校の生徒に奏楽や舞を教えるなど、学んだ技術を次の世代へつなぐ取り組みも進めています。今回の芸能祭では、佐賀神楽団が佐賀県鹿島市に伝わる伝説を題材にした新演目「竜宿浦」を披露しました。安芸高田市から佐賀県へ伝わった神楽が、その土地の歴史や文化を取り入れることで、新たな展開へと発展しています。

図 9月6日(日) 図佐賀市文化会館 大ホール(佐賀県佐賀市)
出演:天神神楽団 演目:大江山

当日の様子は
こちら



源頼光と四天王による鬼退治を描いた「大江山」で、華やかな衣装とスピード感のある舞を披露。



本市との関わりが深い「佐賀神楽団」がオリジナル演目を上演。

図商工観光課 観光係 ☎お太助フォン 47-4024

世界に誇る安芸高田の宝、「神楽」の最新トピックをお届け！